



令和8年度

幼稚園だより 5月号

文京区立小日向台町幼稚園

『元気！と笑顔！が輝く 小日向台町幼稚園』

園長 小岩井 聡

今年度がスタートして1か月。私が園内の様子を見て回っていると、各学年とも落ち着いたスタートが切れているなど感じます。先日、教育指導課長が視察にお越しになった時も、同じ感想をもたれていらっしゃいました。

たんぼぼ組も、当初ドキドキしている姿も見られましたが、少しずつ園生活にも慣れてきて、今ではニコニコ笑顔で元気いっぱいに遊んでいます。進級した子どもたちは戸惑う様子もなく、新たな生活を進めています。年長組は当番活動にも積極的に取り組む姿が見られ、昨年度の年長から引き継いだことを、大切に、頑張っていることが伺えます。

さて、先日のこひなた会の総会のあいさつの中でも、私の掲げる幼稚園の経営方針について、お伝えしました。そのことについてもう少しお話したいと思います。

もちろん公立幼稚園ですから、教育の内容については「幼稚園教育要領」という幼児教育で重要かつ大切にしたいことがまとめられている文部科学省から示されている要領（小学校でいえば学習指導要領のようなもの）が基本となります。ただ、そのうえで、どのような幼稚園を目指すかが、経営方針となります。

私は常々、幼稚園で欠くことができないものは「元気」と「笑顔」だと言っています。この二つは子どもだけでなく、そこに関わるすべての大人にとっても欠くことができないものと考えています。

子どもたちに「元気」がないと、友達と一緒に楽しく遊ぶことはできません。また、遊ぶ中で楽しいと感じられなければ、それはやらされている活動と何ら変わりはありませんし、そこでの学びは無いに等しいでしょう。ですから、遊ぶことを楽しいと感じる中で、自然とこぼれてくるのが「笑顔」だと考えています。また、それを見つめる大人（保護者の方々や教員）も、「元気」でなければ、一緒にその楽しさを味わうことはできませんし、その子どもたちの遊びを見つめる視線は「笑顔」とともになければ、子ども達が委縮してしまい、遊びを壊してしまうことにもなりかねません。そのように考え、私は子どもたちにも、保護者の皆様や教員にも「笑顔」と「元気」を常にもち、それを輝かせていてほしいと願っています。



これからも、常に子どもも大人も『元気！と笑顔！が輝く 小日向台町幼稚園』であり続けられますよう、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今年は年長組がグループで作ったこいのぼりと一緒に年中組の手形こいのぼりも園庭を泳いでいます！